

平成 31 (2019) 年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


教 育 原 理

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月 文部科学省）の一部である。（A）～（C）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

就学基準に該当する障害のある子どもは特別支援学校に（A）という従来の就学先決定の仕組みを改め、障害の状態、（B）、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門の見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先を決定する仕組みとすることが適当である。その際、市町村教育委員会が、本人・保護者に対し十分情報提供をしつつ、本人・保護者の意見を最大限尊重し、本人・保護者と市町村教育委員会、学校等が教育的ニーズと必要な支援について（C）を行うことを原則とし、最終的には市町村教育委員会が決定することが適当である。

（組み合わせ）

	A	B	C
1	就学する権利を有する	本人の教育的ニーズ	合意形成
2	就学する権利を有する	能力	意見交換
3	原則就学する	本人の教育的ニーズ	合意形成
4	原則就学する	本人の教育的ニーズ	意見交換
5	原則就学する	能力	合意形成

問2 次の文は、プラトン (Plato) に関する記述である。(a) ~ (c) の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

プラトン (Plato) は古代ギリシアの哲学者であり、師である (a) アリストテレス (Aristotelēs) を介して哲学の精神に触れた。プラトンの著作は対話形式で書かれており、「対話篇」と呼ばれる。代表作である『国家』において、プラトンは理想の国家の統治者である「哲人王」の教育について語る中で、(b) 善のアイデアを「学ばれるべき最大の事柄」と述べている。プラトンは (b) 善のアイデアの把握に向けた教育行程を描くために (c) 山登りの比喩を用いた。

(組み合わせ)

- |   | a | b | c |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

問3 次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

わたしはここに、あらゆる合自然的な教育の基本的原則、すなわち「生活<sup>、</sup>が<sup>、</sup>陶<sup>、</sup>冶<sup>、</sup>す<sup>、</sup>る<sup>、</sup>」という原則をもって、基礎的な陶冶手段が人間陶冶に対して深く関与することを研究しよう<sup>、</sup>と志しているわれわれの試みの成果を、<sup>、</sup>道<sup>、</sup>徳<sup>、</sup>的<sup>、</sup>・<sup>、</sup>精<sup>、</sup>神<sup>、</sup>的<sup>、</sup>な<sup>、</sup>ら<sup>、</sup>び<sup>、</sup>に<sup>、</sup>身<sup>、</sup>体<sup>、</sup>的<sup>、</sup>の<sup>、</sup>点<sup>、</sup>に<sup>、</sup>関<sup>、</sup>し<sup>、</sup>て<sup>、</sup>眺<sup>、</sup>め<sup>、</sup>て<sup>、</sup>み<sup>、</sup>よ<sup>、</sup>う<sup>、</sup>。

- 1 アウグスティヌス (Augustinus, A.)
- 2 ヒル (Hill, P.S.)
- 3 ブルーナー (Bruner, J.S.)
- 4 ペスタロッチ (Pestalozzi, J.H.)
- 5 ソクラテス (Sōkratēs)

問4 次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

さまざまな可能性を検討した結果、その目的を達成するために、私はここに四つの項目による区分を提案したい。すなわち遊びにおいては、競争か、偶然か、模擬か、眩暈か、そのいずれかの役割が優位を占めているのである。私はそれを、それぞれアゴン [Agôn ギリシア語、試合、競技]、アレア [Alea ラテン語、さいころ、賭け]、ミミクリ [Mimicry 英語、真似、模倣、擬態]、イリンクス [Ilinx ギリシア語、渦巻] と名づける。これら四つはいずれも明らかに遊びの領域に属している。

- 1 カイヨワ (Caillois, R.)
- 2 ピアジェ (Piaget, J.)
- 3 ホイジンガ (Huizinga, J.)
- 4 グロース (Groos, K.)
- 5 エリクソン (Erikson, E.H.)

問5 次の文は、松野クララに関する記述である。( A ) ～ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

松野クララは、東京女子師範学校附属幼稚園の初代監事 ( A ) のもと、( B ) として、( C ) の幼稚園を模範とする幼稚園保育を開始した。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	伊沢修二	主任保母	デューイ (Dewey, J.)
2	関信三	主任保母	フレーベル (Fröbel, F.W.)
3	伊沢修二	社会福祉主事	モンテッソーリ (Montessori, M.)
4	沢柳政太郎	社会福祉主事	シュタイナー (Steiner, R.)
5	関信三	社会福祉主事	モンテッソーリ (Montessori, M.)

問6 次の文は、城戸幡太郎に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育問題研究会を結成し、会長として研究者と保育者の共同の実証的研究を推進した。
- 2 日本で最初にリトミックを幼児教育に導入し、日本のリトミック教育の基礎を築いた。
- 3 従来の画一主義的な教育を批判する大正新教育運動のなか、「全人教育論」を主張した。
- 4 大正、昭和期の幼稚園遊戯の中心である「律動遊戯」、「律動的表情遊戯」を考案した。
- 5 自然の中で子どもたちを遊ばせる露天保育を提唱し「家なき幼稚園」を設立した。

問7 次の文は、イギリスの教育に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 ナショナル・カリキュラムとの関連でいくつかの学年を一つのグループにしたキーステージと呼ばれる区分が導入され、各キーステージの最終学年などにおいて生徒の学力がどの程度伸びているのかを評価する仕組みが設けられている。
- 2 2002年からシティズンシップ教育が中等学校の必修科目として導入され、市民に必要とされる知識・スキル・技能などの育成が目指されている。
- 3 サッチャー保守党政権は市場原理を柱とする新自由主義的な政策を推進し、ナショナル・カリキュラムとナショナル・テストの導入などによる競争原理を教育に導入した。
- 4 ブレア労働党政権は「第三の道」と呼ばれる政治路線をとり、ナショナル・テストを廃止するなど、前保守党政権が創出した競争的な環境の改善を目指した。
- 5 新教育運動の教育者であるニール (Neill, A. S.) によって創設されたサマーヒル・スクールは、学校の方針である授業の出欠自由の是非を巡って政府と法廷で争ったが和解し、授業の出欠の自由については尊重されることとなった。

問8 次の文は、少子化対策をめぐる動向に関する記述である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

1990 (平成2)年、出生率の低下が深刻になっていることが ( A ) ショックとして大きなニュースとなった。子どもを産み育てる良好な環境を行政が整備していく必要から、1994 (平成6)年には ( B ) が、1999 (平成11)年には ( C ) が策定され、保育所の増設や多様な保育サービスの充実が進み始めた。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	2.14	キンダープラン	エンゼルプラン
2	1.57	エンゼルプラン	新エンゼルプラン
3	1.57	ファミリープラン	エンゼルプラン
4	1.00	エンゼルプラン	新エンゼルプラン
5	1.00	ファミリープラン	新ファミリープラン

問9 次の文は、PISA (Programme for International Student Assessment) に関する記述である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

( A ) が2000年より始めた国際的な ( B ) 調査であり、日本では ( C ) を対象に実施されている。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ユニセフ	学習到達度	小学校1年生
2	ユニセフ	体力測定	小学校4年生
3	OECD	発達	小学校1年生
4	OECD	学習到達度	高等学校1年生
5	ユネスコ	発達	小学校4年生

問 10 次の文のうち、中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成 28 年 12 月）において、「主体的・対話的で深い学び」について述べられた内容として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、特定の指導方法ではなく、人間の生涯にわたって続く「学び」という営みの本質を捉えて授業の工夫・改善を積み重ねていくことである。
- 2 「アクティブ・ラーニング」は、総合的な学習の時間や特別活動で行う教科横断的な問題解決型の学びのみを指すものとして定義されており、各教科の授業は「アクティブ・ラーニング」の土台となる基礎的な知識を習得するためのものと位置づけられる。
- 3 「アクティブ・ラーニング」の視点については、深まりを欠くと表面的な活動に陥る失敗事例も報告されていることから、「深い学び」の視点が重要である。
- 4 子どもたちが学びを深めるための資料の選択や情報収集、教員の教材準備等を支えるために、学校図書館が、公共図書館など地域との協働を図ることも必要である。
- 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ICTの活用方法についての実践的研究と成果の普及が求められる。